

2020年度「NPO法人 津山・きびの会」総会

特定非営利活動法人津山・きびの会（理事長・川島和子）の2020（令和2）年度総会が6月3日、小桁のトトロの家で開かれた。

正会員17人のうち出席は7人と10人が委任状出席し、過半数出席で総会は成立した。

新型コロナウイルス禍に伴い、来賓の臨席は遠慮を願い、一方で、美作大学（ひきこもり研究）の学生さんら5人が研修の一環で参加するという異例の形になった。

開会に先立ち、川島理事長が挨拶。「若い人の参加が増えありがたかった」と昨年度の活動を振り返った。

議長に智和譲さんを選出、議事録署名人に赤堀艶子さんと、川島かいぞうさん、記録係に日笠久栄さんを、それぞれお願いした。監事は秋久憲司さん、辻井卓也さん。

議事に入り、▶1号議案「2019年度活動報告と課題」▶2号議案「2019年度事業活動計算書」▶3号議案「2020年度活動方針



(案)」▶4号議案「2020年度活動予算書(案)」を審議し満場一致で承認、閉会した。

焼きそば講習会

梅雨空の合間、晴れ間も覗く、6月20日(土)、トトロ恒例の6月サロンが、老若男女29名の参加を得て、開催されました。今回のサロンは、気持ちを同じくする会員・有志等の親睦を図ること以外に、後継者の育成という、きびの会の重大課題に加え、最近が高齢化で参加出来なくなっていた、ふれあいマーケットの屋台復活を目指して、「焼きそば講習会」と銘打って、実施したものです。

若い世代は、物覚えも早く確かで、途中、「もやし」を入れ忘れるというアクシデントはありましたが、1時間足らずで50食を焼き上げ、食べても美味しいと、大変満足できる結果となり、年寄り一同、「これで一安心」と胸をなでおろしました。今後とも皆さんの協力と支援を期待します。(H.T)

2020年度活動方針

新型コロナウイルス肺炎が世界に広がる渦中、新年度は始まった。明日の事が予測できないまま誰もが不安を抱いている。困難な時にこそ日々の生活を大事にして今できることに集中することが求められているように思う。

ひきこもり支援は、自分事として考える時、待ったなしの大きな課題となっている。

昨年度は総社市ひきこもり支援センターを視察した。また、議員懇談会では、会の抱える課題を知ってもらった。私たちの活動を通して津山市におけるひきこもり支援を充実したものになるよう要望を伝えることが必要となってくる。

家族会ではピュアサポーターの力を必要としていることが明らかになった。

社会とつながる太いパイプが同世代の若者の中にあると思われる。今年は、ピュアサポーターを志したいという若者が入会してくれた。美作大学の菅原先生により家族教室が開かれる。また菅原ゼミに所属する学生さんが、ひきこもり問題に関心を持ち会の行事に参加して下さることになった。さらに民生委員さんも協力を申し出てくれる方もある。様々な人々に支援をいただきながら今年度の年間行事を計画し実行していきたい。行事の実行に関しては、定例会で詳細を決めていく。

尚、NPO法人としての活動は、今年度限りとする。解散するにあたっては、残余財産を「NPO法人津山しらうめの会」に寄付する。

【年間計画】

- ①トトロ・サロンは、昨年通り隔月で開催する
- ②行政への要望書を出していく
- ③家族教室の実施
- ④ピュアサポーターの訪問活動は、家族の要望に応じて実施する。細部の規定は、理事会で決める
- ⑤にぎわい市への参加は、若者の協力を得たら実現していく
- ⑥味噌作り、ぼかし作りは、担い手が集まることで実行する
- ⑦トトロ通信の発行を継続する
- ⑧各種研修会・交流会の主催及び参加をしていく。